

News 新聞

第2号
財光寺中学校
KIND サークル

全員合格を目指して

財光寺中学校3年生面接練習

現在、財光寺中学校では3年生が高校入試に向けて面接練習を行っている。授業の時間はもちろん、休み時間等を使って練習し、「合格」を目指して日々頑張っている。その生徒の姿はとも真剣だ。面接練習では、地域の方々に面接官、面接指導をして頂き、より充実した環境で行っている。最初はノック

の回数や座り方など基本的なことまでさえ分からなかったが、先生や地域の方々が熱心に指導してくださったため、上達してきた。私立試験や県立推薦の面接では想定外の質問などもあったが練習の成果を発揮できたようだ。地域の方々に面接官をして頂いたことで、「緊張感が増した」とある生徒は

言う。また、専門的な資格の話や、様々な職業のお話を聞くことができた人もいたようだ。「受験は団体戦」という言葉があるように、クラスメイト、先生、3年生、財中生、地域の方々、この「チーム財光寺」で協力し、応援してくれている方々に感謝して財中3年生全員合格を目指す。（文責・3年C）



地域の方による面接練習のようす

先輩の健闘を祈って 合格祈願神社「財神社」



生徒会企画の「財神社」

1月上旬、財光寺中学校の生徒会室前に神社が現れた。「財神社（たからじんじや）」という愛称で親しまれ、多くの生徒が足を運んでいる。これは3年生を応援したいという後輩の思いにより、生徒会執行部によって作製されたものである。本殿や応援メッセージ掲示板、おみくじコーナーもあり、全校生徒を楽しませているようだ。生徒会執行部の2年生は「1・2年生全員で3年生に対してできることを考えた。全員合格をしてほしい。」と語る。この財神社の設置は県立一般入試の3月7日まで。毎朝見て全員第一志望合格を目標に3年生も勉学に意気込んでいる。

面接担当より

面接の練習において客観的に評価して頂くことで、受け答えも上達したと感じます。「練習したからできました！」と多くの声が上がりました。嬉しかったです。指導に来ていただき、ありがとうございました。

経験から学ぶ

面接も貴重な経験の1つだ！

面接練習を通して何を身に付けるのか。それは、自分の考えの引き出しを増やすため、相手の気持ちを考えるため、そして緊張感をもつためだと校長先生は語る。面接では自分に関することや自分の考えを問われる。この中には問われないと考えない問題もある。例えば、環境問題に対する自分の考えだ。とにかく、練習をこなせばその考えの幅も広がっていくはずである。これらを通して、自分の考えの視野を広げてほしい。そして、私たちはこの経験を重ね、これからの輝かしい未来のために、私たちは学び続けたいといけない。

インタビュー

いい緊張感ももてたし、姿勢のことについて注意を頂いたので、本番ではそこに注意することができました。（3年・M）

初対面で緊張したけど、こういう経験も必要だと思いました。第一印象を大切にするように心がけたいです。（3年・R）

答えることが普段より難しく感じたけど、大切なことを知ることができました。（3年・S）

価値観が違うため、多様な考え方になり、面接練習を通して視野が広がったと思います。（職員・M）



校長室で自主的に練習している